

平成30年度 伊勢原市史編さん委員会 会議録

I 開催日時

平成30年10月29日(月) 午前9時55分～午前10時55分

II 開催場所

伊勢原市役所3階 第3委員会室

III 出席委員(5名)

永井 治子(委員長)
小澤 光孝(副委員長)
鈴木 良明
星野 和子
鍛代 英雄

IV 公開可否

公開

V 傍聴者数

0人

VI 事務局

教育部 部長 谷 亀 博 久
教育部教育総務課 歴史文化担当課長 立 花 実
教育部教育総務課 市史係 係長 井 上 淳
教育部教育総務課 市史係 主任主事 酒 川 崇 生

《会議の内容》

午前9時55分開会

- 1 委員長あいさつ
- 2 教育部長あいさつ
- 3 報告事項
「伊勢原市史」ダイジェスト版の進捗状況について
資料に基づき説明。

委 員：頒布金額はどれくらいになりそうか。

事務局：1,000円を下回る金額が良いと考えているが、まだ確定していない。

委 員：頒布部数はどれくらいか。

事務局：1,800部のうち、いくらかストックを残したうえで頒布したい。

委 員：無償配布分のうち、なるべく多くを学校の先生や生徒・児童に寄贈してほしい。

事務局：そういった意見を他所からも聞いている。考慮したい。

委 員：ダイジェストで年表はどうするのか。

事務局：冊子のページ数次第と考えている。現在のページ数は180ページほどで若干の余裕があるが、目次や索引も入れなければならない。年表のボリューム等については市町村によって様々であるが、見開き2ページ程度で全体の流れが分かる方が良く考えている。詳細は市史ダイジェスト版の会議で話し合いたい。

- 4 その他

資料に基づき説明

委 員：宝永の噴火における砂積もりの断面が分かるような写真はないのか。

事務局：近隣では秦野や大磯が写真を持っている。市史の近世編刊行の際、執筆者の先生からいい写真がないか聞かれたことがある。あの時に探したがなかった。

委 員：こういった歴史資料の解説講座を続けていくのはいいことだと思う。

- 委員：解説講座の資料に作成者名を付けた方がいいだろう。7～8年前に伊勢原市に引っ越した私の友人は、こういった講座や遺跡調査の報告会を楽しみにしている。これから住んでいく土地のことを知りたいという方は多い。この講座も続けて行ってほしい。
- 委員：会場となっている旧堀江家の資料を意識しているのであろうが、それだけにこだわらず伊勢原市史の全体的な内容にしていければいいと思う。
- 事務局：会場が狭く10人程度が定員となっている。

午前10時55分閉会